厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」

平成30年度第1回総会プログラム

时 平成 30 年 7 **月** 26 **日 (木)** 10:00~17:00

7月27日(金)10:00~11:20

会 場 コングレスクエア日本橋

コンペンションホール A・B

(〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 2F)

研究代表者 鈴 木 康 夫

(東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター)

事 務 局 東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター

担当 山田 哲弘

T E L 043-462-8811 (代) TEL/ FAX: 043-462-7370

E- mail ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp

第1回総会について

1) 演題発表について

1.【発表データの作成】

スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリー、または CD-R に保存したものをお持込み下さい。(Windows,Macintosh どちらも対応可能ですが、ご自身の PC 以外の機器でも試写してからお持ち下さい。) ご自身のパソコンで発表される場合は、PC 本体持ち込みで、ご準備いただけますようお願いいたします。特に動画、音声がある場合は、PC お持ち込みを推奨いたします。

2.【口演発表・討論時間】

プロジェクト責任者の先生は、総括を各プロジェクト冒頭で発表をお願い致します。**総括は 10 分、** プロジェクト計画・研究成果の発表は 6 分、討論 4 分、時間厳守でお願い致します。

3.【発表データ受付】

発表 30 分前までにコンベンションホール A・B 会場前「発表データ受付」までご提出下さい。 その際、試写(出力確認)も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却い たします。

2日目以降のデータは、前日でも受付することが出来ます。

4. 【発表データについて】

<u>厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきます</u>ことをご了承下さい。 不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡お願いします。

5.【配布資料について】

資料を配布される場合には、<u>事務局【E-mail:ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp】まで**必ず**ご連絡</u>をお願い致します。送付先等につきまして、ご案内いたします。

当日、持ち込みになられる場合も必ずご連絡をお願い致します。

配布部数 250部のご用意をお願い致します。

6.【研究成果の公表について】

研究成果の公表の際には本調査研究班の助成を受けていることを必ず明記して下さい。

英文標記例

This work was supported in part by Health and Labor Sciences Research Grants for research on intractable diseases from the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan.

2)会場へのご入場について

2階会場入り口の受付にて芳名録へご署名後、会場へお進みください。 会場は満席を予定しておりますので、前の方よりつめてお座り下さい。 ご協力をお願い致します。

3)駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

4)会場案内図

コングレスクエア日本橋

住所:〒103-0027

東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 2F

TEL: 03-3275-2088 (事務所直通)

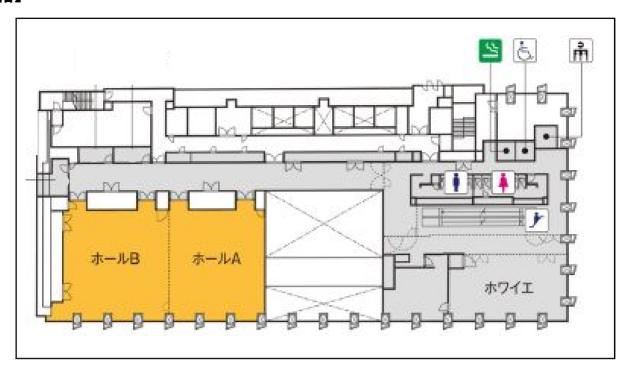
アクセス 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草「日本橋」駅 B9 出口 直結

東京メトロ半蔵門線「三越前」駅 B5 出口より 徒歩3分

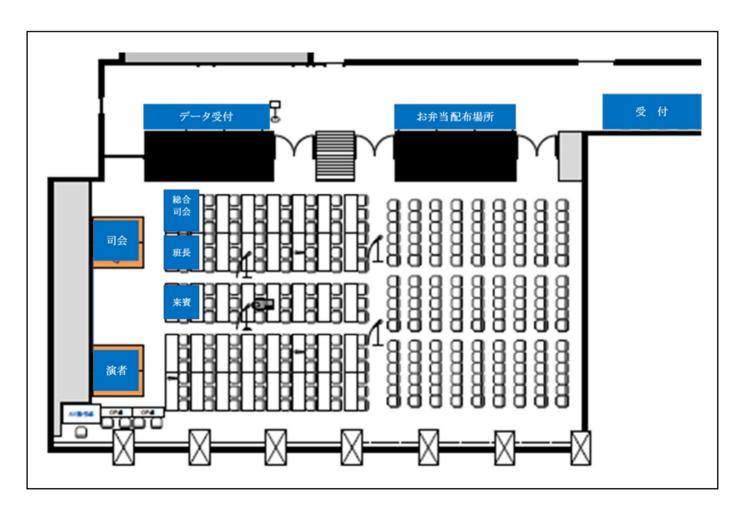
JR「東京」駅 日本橋口より 徒歩5分東京八重洲中央口より 徒歩10分



【2階】



【コンペンションホールA・B 会場内】



厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班 平成30年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成30年7月26日(木)

開会(10:00)

厚生労働省健康局 難病対策課 挨拶

.国立保健医療科学院 挨拶

国立保健医療科学院 研究事業推進官(厚生労働科学研究費補助金 政策技術評価研究部 上席主任研究官 厚生労働省大臣官房厚生科学課(併任) 武村 真治先生

- . 研究代表者挨拶・研究の進め方 研究代表者 鈴木 康夫
- .研究報告
- 1.疫学・データーペース作成プロジェクト (10:30~11:00) 総括 西脇祐司 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野 (10分)

難治性炎症性腸管障害希少疾患(クロンカイト・カナダ症候群、非特異性多発性小腸潰瘍症、腸管型ベー チェット病)の全国疫学調査

村上義孝¹、西脇祐司²、大庭真梨¹、朝倉敬子²、竹内 健³、鈴木康夫⁴、福島若葉⁵、大藤さとこ⁵(東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野¹、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座³、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁴、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学⁵)

炎症性陽疾患に対する新規薬剤を対象とした全国規模疾患レジストリ研究に向けての検討

松岡克善¹、西脇祐司²、朝倉敬子²、村上義孝³、福島浩平⁴、小林 拓⁵、長沼 誠⁶、渡辺 守⁻、日比紀文 ⁵、鈴木康夫ঙ(東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座¹、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁵、慶應義塾大学医学部消化器内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷、東邦大学佐倉病院 IBD センターв)

【鮎上】食物中の鉄摂取量・亜鉛摂取量と潰瘍性大腸炎との関連:多施設共同・症例対照研究

小林由美恵¹、山上博一¹、大藤さとこ²、近藤亨子²、伊藤一弥²、福島若葉²、渡辺憲治³、長堀正和⁴、渡辺 守⁴、西脇祐司⁵、鈴木康夫⁶(大阪市立大学大学院医学研究科・消化器内科学¹、大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学²、兵庫医科大学・腸管病態解析学³、東京医科歯科大学・消化器病態学⁴、東邦大学医学部・社会医学/衛生学⁵、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁶、For the Japanese Case-Control Study Group for Crohn's disease)

2. IBD **の病診連携を構築するプロジェクト (11:00~11:10)** 総括 久松理一 杏林大学医学部第三内科学 (10分)

IBD の病診連携を横築するプロジェクト

〇久松理一¹、猿田雅之²、長堀正和³、池内浩基⁴、鈴木康夫⁵(杏林大学医学部第三内科学¹、東京慈恵医科大学 消化器・肝臓内科²、東京医科歯科大学消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁵)

3. 広報活動/研究成果公表/専門医育成プロジェクト (11:10~11:30) 総括 岡崎和一 関西医科大学内科学第三講座 (10分)

Web を主体とした患者・家族への情報発信と一般医の啓発・教育活動

鈴木康夫 ¹、竹内 健 ²、松岡克善 ²、渡辺 守 ³、〇長堀正和 ³、藤谷幹浩 ⁴、中村志郎 ⁵、穂刈量太 ⁶、藤井久 男 ⁷、岡崎和一 ⁸、二見喜太郎 ⁹、安藤 朗 ¹⁰、平井郁仁 ¹¹、渡辺憲治 ¹²、木村英明 ¹³、長沼 誠 ¹⁴、横山 薫 ¹⁵、新井勝大 ¹⁶(東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹、東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座 ²、東京医科歯科大学 消化器内科 ³、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野 ⁴、兵庫医科大学内科学下部消化管科 ⁵、防衛医科大学校内科 ⁶、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁷、関西医科大学内科学第三講座 ⁸、福岡大学筑紫病院外科 ⁹、滋賀医科大学消化器内科 ¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科 ¹¹、兵庫医科大学腸管病態解析学 ¹²、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患(IBD)センター¹³、慶應義塾大学医学部 消化器内科 ¹⁴、北里大学病院 消化器内科 ¹⁵、国立成育医療研究センター消化器科 ¹⁶)

【誌上】IBD を専門とする消化器医育成プログラムの開発

鈴木康夫 ¹、竹内 健 ²、岡崎和一 ³、二見喜太郎 ⁴、安藤 朗 ⁵、辻川 知之 ⁵、渡辺 守 ⁶、長堀正和 ⁶、松岡克善 ²、高後 裕 ⁷、蘆田知史 ⁸、〇藤谷幹浩 ⁹、上野伸典 ⁹、安藤勝祥 ⁹、稲場勇平 ¹⁰、中村志郎 ¹¹、渡辺憲治 ¹¹、福島浩平 ¹²、松井敏幸 ¹³、平井郁仁 ¹³、穂刈量太 ¹⁴、金井隆典 ¹⁵、長沼 誠 ¹⁵、藤井久男 ¹⁶、横山 薫 ¹⁷、木村英明 ¹⁸(東邦大学佐倉病院 IBD センター¹、東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座 ²、関西医科大学内科学第三講座 ³、福岡大学筑紫病院外科 ⁴、滋賀医科大学消化器内科 ⁵、東京医科歯科大学 消化器病態学 ⁶、国際医療福祉大学病院消化器内科 ⁷、札幌徳州会病院 IBD センター⁸、旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野 ⁹、市立旭川病院消化器病センター¹⁰、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門 ¹¹、東北大学大学院消化管再建医工学分野 分子病態外科学分野 ¹²、福岡大学筑紫病院 消化器内科 ¹³、防衛医科大学校内科 ¹⁴、慶應義塾大学消化器内科 ¹⁵、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター¹⁶、北里大学医学部消化器内科 ¹⁷、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター¹⁸)

4.合併症・副作用対策プロジェクト (11:30~12:00) 総括 猿田雅之 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科 (10分) 総括 池内浩基 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学外科部門 (10分)

炎症性陽疾患における血栓症発症の予防・治療に関する研究

藤谷幹浩¹、安藤勝祥¹、稲場勇平²,野村好紀¹、上野伸展¹、盛一健太郎¹、前本篤男³、蘆田知史⁴、高後 裕⁵、仲瀬裕志⁶、山田 聡¹、田中一之ঙ(旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、市立旭川病院消化器病センター²、札幌東徳州会病院 IBD センター³、札幌徳州会病院 IBD センター⁴、国際医療福祉大学病院消化器内科⁵、札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科学講座⁶、京都大学消化器内科♂、旭川厚生病院消化器科ঙ)

【誌上】炎症性陽疾患における骨・関節合併症の実態調査

猿田雅之¹、櫻井俊之¹、冨田哲也²(東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科¹、大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学²)

【誌上】クローン病術後吻合部潰瘍に関する調査研究

小山文一¹、 植田 剛²、藤井久男³、杉田 昭⁴、池内浩基⁵、福島浩平⁶、畑 啓介⁷、荒木俊光⁸、板橋道朗⁹、篠崎 大¹⁰、楠 正人⁸、小金井一隆⁴、内野 基⁵、渡辺和宏⁶、品川貴秀⁷、高橋賢一¹¹、根津理一郎¹²、橋本可成¹³、舟山裕士¹⁴、水島恒和¹⁵、飯島英樹¹⁶、山本博徳¹⁷、加藤 順¹⁸、小林 拓¹⁹、藤谷幹浩²⁰、佐々木誠人²¹、松岡克善²²、竹中健人²³、田中信治²⁴、上野義隆²⁴、東 大二郎²⁵、二見喜太郎²⁵(奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター³、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患外科⁵、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東京女子医科大学

第二外科⁹、東京大学医科学研究所附属病院外科¹⁰、東北労災病院大腸肛門外科¹¹、西宮市立中央病院外科¹²、順心病院消化器センター¹³、仙台赤十字病院外科¹⁴、大阪大学消化器外科¹⁵、大阪大学消化器内科¹⁶、自治医科大学消化器内科¹⁷、和歌山県立医科大学消化器内科¹⁸、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹⁹、旭川医科大学消化器内科²⁰、愛知医科大学消化管内科²¹、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座²²、東京医科歯科大学消化器内科²³、広島大学病院内視鏡診療科²⁴、福岡大学筑紫病院外科²⁵)

【**誌上**】 潰瘍性大腸炎治療例の予後 QOL の観点から (prospective study) 杉田 昭¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、楠 正人⁸、畑 啓介⁹、福島浩平¹⁰、小金井一隆¹¹、佐々木 巌¹²、松岡克善¹³、平井郁仁¹⁴、中村志郎¹⁵(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、仙台赤十字病院外科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大第 2 外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東京大学大腸肛門外科⁹、東北大学分子病態外科¹⁰、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹¹、みやぎ健診プラザ¹²、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座¹³、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁵)

【誌上】CMV 感染合併潰瘍性大腸炎を対象とした定量的 PCR 法に基づく抗ウイルス療法の適応選択と有効性に関する臨床試験

仲瀬裕志 ¹、 松浦 稔 ²、竹内 健 ³、松岡克善 ³、鈴木康夫 ⁴、長沼 誠 ⁵、藤井俊光 ⁶、福井寿朗 ⁻、高津典孝 ឹ、石黒 陽 ց、北村和哉 ¹0、安藤 朗 ¹1、馬場重樹 ¹²、内藤裕二 ¹³、高木智久 ¹³、飯島英樹 ¹⁴、新崎信一郎 ¹⁴(札幌医科大学 消化器内科学講座 ¹、京都大学医学部附属病院 内視鏡部 ²、東邦大学佐倉病院 消化器内科 ³、東邦大学佐倉病院 IBD センター⁴、慶應義塾大学医学部 消化器内科 ⁵、東京医科歯科大学 消化器病態学講座 ⁶、関西医科大学 内科学第三講座 ⁻、福岡大学筑紫病院 消化器内科 ®、国立病院機構弘前病院 消化器・血液内科 g、金沢大学医学部附属病院 消化器内科 ¹0、滋賀医科大学 消化器内科 ¹1、栄養治療部 ¹2、京都府立医科大学 消化器内科 ¹3、大阪大学 消化器内科 ¹4)

【誌上発表】本邦の炎症性腸疾患患者における EB ウィルス感染状況に関する多施設共同研究

○久松理一¹、三浦みき¹、清水泰岳²、新井勝大²、清水俊明³、岩間 達⁴、仲瀬裕志⁵(杏林大学医学部第三 内科学¹、国立成育医療センター器官病態系内科部消化器科²、順天堂大学小児科・思春期科³、埼玉県立小 児医療センター消化器・肝臓科⁴、札幌医科大学消化器内科⁵)

5.治療指針・ガイドラインの改訂 (13:00~14:00) 総括 中村志郎 兵庫医科大学 炎症性陽疾患学講座内科部門 (10分) 総括 杉田 昭 横浜市立市民病院 臨床研究部 炎症性陽疾患科 (10分)

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

〇中村志郎 ¹、松井敏幸 ²、杉田 昭 ³、余田 篤 ⁴、安藤 朗 ⁵、金井隆典 ⁶、長堀正和 ²、樋田信幸 ¹、穂苅量太 ឹ、渡辺憲治 ց、仲瀬裕志 ¹0、竹内 健 ¹1、上野義隆 ¹²、福島浩平 ¹³、二見喜太郎 ¹⁴、鈴木康夫 ¹5(兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門 ¹、福岡大学筑紫病院消化器内科 ²、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター ³、大阪医科大学小児科 ⁴、滋賀医科大学消化器内科 ⁵、慶應義塾大学消化器内科 ß、東京医科歯科大学消化器内科 ²、防衛医科大学校消化器内科 ß、兵庫医科大学腸管病態解析学 g、札幌医科大学医学部消化器内科学講座 ¹0、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科 ¹¹、広島大学病院内視鏡診療科 ¹²、東北大学大学院分子病態外科・消化管再建医工学 ¹³、福岡大学筑紫病院外科 ¹⁴、東邦大学佐倉病院 IBD センター¹5)

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

〇久松理一¹、平井郁仁²、小金井一隆³、新井勝大⁴、長沼 誠⁵、松浦 稔⁶、松岡克善⁻、猿田雅之⁶、畑 啓介ց、加藤真吾¹⁰、加藤 順¹¹、仲瀬裕志¹²、中村志郎¹³、鈴木康夫¹⁴(杏林大学医学部第三内科学¹、福岡大

学筑紫病院消化器内科²、横浜市民病院炎症性腸疾患科³、国立成育医療センター器官病態系内科部消化器科⁴、慶應義塾大学消化器内科⁵、京都大学医学部消化器内科⁶、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁷、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁸、東京大学医学部 腫瘍外科・血管外科⁹、埼玉医科大学消化器・肝臓内科¹⁰、三井記念病院消化器内科¹¹、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹³、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁴)

清瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、楠 正人⁵、舟山裕士⁶、畑 啓介⁷、福島浩平⁸、板橋 道朗⁹、池内浩基¹⁰、小金井一隆¹¹、篠崎 大¹²、亀山仁史¹³、亀岡信悟¹⁴、佐々木 巌¹⁵、中村志郎¹⁶、平井 郁仁¹⁷(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院 消化器内視鏡・IBD センター⁴、三重大学消化管・小児外科学⁵、仙台赤十字病院外科⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、東北大学分子病態外科⁸、東京女子医大第 2 外科⁹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座¹⁰、横浜市立市 民病院炎症性腸疾患センター¹¹、東大医科学研究所病院腫瘍外科¹²、新潟大学消化器、一般外科¹³、牛久愛和総合病院¹⁴、みやぎ健診プラザ¹⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁷)

潰瘍性大腸炎に合併した dysplasia, cancer の外科治療指針

畑 啓介¹、杉田 昭²、池内浩基³、福島浩平⁴、二見喜太郎⁵、楠 正人⁶、小山文一7、水島恒和®、板橋道 朗⁹、木村英明 ¹⁰、安藤 朗 ¹¹、岡崎和一 ¹²、緒方晴彦 ¹³、金井隆典 ¹⁴、猿田雅之 ¹⁵、清水俊明 ¹⁶、仲瀬裕志 ¹⁷、 中野 雅 18、中村志郎 19、長堀 正和 20、西脇祐司 21、久松理一 22、平井郁仁 23、穂刈量太 24、松岡克善 25、 松本主之26、鈴木康夫27(東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科1、横浜市立市民病院炎症性腸疾患 センター2、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座3、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学 分野⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座消 化管・小児外科学⁶、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁷、大阪大学大学院医学系研究科臨 床腫瘍免疫学寄付講座®、東京女子医科大学第二外科®、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患(IBD)センター¹⁰、滋賀医科大学内科学講座消化器内科 ¹¹、関西医科大学内科学第 三講座(消化器肝臓内科)12、慶應義塾大学医学部内視鏡センター13、慶應義塾大学医学部消化器 内科 ¹⁴、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科 ¹⁵、順天堂大学医学部小児科学教室 ¹⁶、札幌医科 大学医学部消化器内科学講座 17、北里大学北里研究所病院内視鏡センター18、兵庫医科大学炎症 性腸疾患学講座内科部門 19、東京医科歯科大学医学部 臨床試験管理センター20、東邦大学医学部社会 医学講座衛生学分野 21、杏林大学医学部第三内科学 22、福岡大学筑紫病院消化器内科 23、防衛医 科大学校消化器内科 24、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科 25、岩手医科大学医学部内 科学講座消化器内科消化管分野 ²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²⁷)

【誌上】Crohn 病手術例の再発危険因子の検討 prospective study

杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、楠 正人⁶、畑 啓介⁻、福島浩平ց、板橋道朗ց、池内浩基¹⁰、亀山仁史¹¹、亀岡信悟¹²、佐々木 巌¹³、村上義孝¹⁴、西脇祐司¹⁵(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、三重大学消化管・小児外科学⁶、東京大学大腸肛門外科⁻、東北大学分子病態外科ց、東京女子医大第2外科ց、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座¹⁰、新潟大学消化器・一般外科¹、牛久愛和総合病院¹²、みやぎ健診プラザ¹³、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野¹⁴、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁵)

【誌上】クローン病再手術率の時代的変遷

畑 啓介 ¹、杉田 昭 ²、池内浩基 ³、福島浩平 ⁴、二見喜太郎 ⁵、楠 正人 ⁶、小山文一 ⁷、水島恒和 ⁸、板橋道朗 ⁹、木村英明 ¹⁰、安藤 朗 ¹¹、岡崎和一 ¹²、緒方晴彦 ¹³、金井隆典 ¹⁴、猿田雅之 ¹⁵、清水俊明 ¹⁶、仲瀬裕志 ¹⁷、中野 雅 ¹⁸、中村志郎 ¹⁹、長堀 正和 ²⁰、西脇祐司 ²¹、久松理一 ²²、平井郁仁 ²³、穂刈量太 ²⁴、松岡克善 ²⁵、松本主之 ²⁶、鈴木康夫 ²⁷(東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科 ¹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター ²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座 ³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野 ⁴、福岡大学筑

紫病院外科⁵、三重大学大学院医学系研究科生命医科学専攻臨床医学系講座消化管・小児外科学⁶、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁷、大阪大学大学院医学系研究科臨床腫瘍免疫学寄付講座⁸、東京女子医科大学第二外科⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患(IBD)センター¹⁰、滋賀医科大学内科学講座消化器内科¹¹、関西医科大学内科学第三講座(消化器肝臓内科)¹²、慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹³、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁴、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科¹⁵、順天堂大学医学部小児科学教室¹⁶、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁷、北里大学北里研究所病院内視鏡センター¹⁸、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁹、東京医科歯科大学医学部 臨床試験管理センター²⁰、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²¹、杏林大学医学部第三内科学²²、福岡大学筑紫病院消化器内科²³、防衛医科大学校消化器内科²⁴、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座²⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²⁷)

【誌上】「クローン病肛門部病変のすべて」の改訂 - 中間報告 -

二見喜太郎¹、東 大二郎¹、平野由紀子¹、杉田 昭²、小金井一隆²、福島浩平³、舟山裕士⁴、池内浩基⁵、藤井久男⁶、板橋道朗⁻、畑 啓介ී、楠 正人ց、荒木俊光ց、根津理一郎¹⁰、高橋賢一¹¹、水島恒和¹²、木村英明¹³、亀山仁史¹⁴(福岡大学筑紫病院¹、横浜市民病院²、東北大学病院外科学³、仙台赤十字病院⁴、兵庫医大 IBD センター⁵、吉田病院⁶、東京女子医大 2 外科⁻、東京大学腫瘍外科®、三重大学消化管・小児外科ց、西宮市立中央病院¹⁰、東北労災病院外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²、横浜市立大学市民総合医療センター外科¹³、新潟大学消化器外科¹⁴)

【誌上】インフリキシマブ治療によって寛解維持された潰瘍性大腸炎患者に対するインフリキシマブ治療の中止および継続群の寛解維持率比較研究(HAYABUSA)

〇小林 拓¹、久松理一²、松本主之³、本谷 聡⁴、仲瀬裕志⁵、渡辺憲治⁶、平井郁仁⁻、田中正則⁶、渡辺 守ೀ、日比紀文¹(北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹、杏林大学第3内科²、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科・消化管分野³、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター⁴、京都大学消化器内科⁶、兵庫医科大学腸管病態解析孕⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科⁷、弘前市立病院臨床検査科⅙、東京医科歯科大学消化器病態学⁶)

【誌上】潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の治療効果予測因子としての温感の意義とそのメカニズム としての皮膚血液量の解析

飯塚政弘^{1,2}、衛藤 武¹、相良志穂²、熊谷 誠³(¹秋田赤十字病院 消化器内科、²秋田赤十字病院 附属あきた健康管理センター、³秋田赤十字病院 医療技術部)

6.**診断基準の改訂 (**14:00~14:50) **総括 平井郁仁 福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター (**10分)

クローン病術後再発に関するカプセル内視鏡評価の意義に関する検討

江﨑幹宏¹、松本主之²、鳥巣剛弘³、梅野淳嗣³、平野敦士³、冬野雄太³、平井郁仁⁴、二見喜太郎⁵、中村志郎⁶、池内浩基7、渡辺憲治ϐ、大宮直木ց、中村正直10、内藤裕二11、仲瀬裕志12、松浦 稔13、藤谷幹浩14、角田洋一15、大森鉄平16、飯島英樹17、平岡佐規子18、蔵原晃一19、金城 徹20、金城福則21、芦塚伸也22、山本章二朗23、竹島史直24、光山慶一25、猿田雅之26、石川 大27、澁谷智義27、桜庭裕丈28、小山文一29、久松理一30、細江直樹31、緒方晴彦31、長沼 誠32、金井隆典32、小林 拓33、日比紀文33、長堀正和34、渡辺 守34、竹内 健35、松岡克善35、鈴木康夫36(佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部1、岩手医科大学内科学講座消化器消化管分野2、九州大学病態機能内科学3、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター4、福岡大学筑紫病院外科5、兵庫医科大学内科炎症性腸疾患学講座内科部門6、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門7、兵庫医科大学陽管病態解析学8、藤田保健衛生大学消化管内科9、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学10、京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学11、札幌医科大学医学部消化器内科学12、京都大学医学部附属病院内視鏡部13、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学14、東北大学病院消化器内科15、東京女子医科大学消化器病センター16、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学17、岡山大学病院消化

器内科 ¹⁸、松山赤十字病院胃腸センター¹⁹、琉球大学医学部附属病院光学医療診療部 ²⁰、浦添総合病院 ²¹、宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御分野 ²²、宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野 ²³、長崎大学医学部消化器内科 ²⁴、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門 ²⁵、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科 ²⁶、順天堂大学医学部消化器内科学講座 ²⁷、弘前大学消化器血液内科学講座 ²⁸、奈良県立医科大学消化器・総合外科 ²⁹、杏林大学医学部第三内科学 ³⁰、慶應義塾大学医学部内視鏡センター³¹、慶應義塾大学医学部消化器内科 ³²、北里大学研究所病院 IBD センター³³、東京医科歯科大学消化器内科 ³⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター³⁶)

潰瘍性大腸炎の臨床的重症度による分類の改定 - アンケート結果の報告と今後の予定 -

〇高津典孝 ¹、矢野 豊 ²、竹内 健 ³、長沼 誠 ⁴、大塚和朗 ⁵、渡辺憲治 ⁶、松本主之 ⁻、江﨑幹宏 в。小金井一隆 ց、杉田 昭 ¹0、畑 啓介 ¹¹、二見喜太郎 ¹²、味岡洋一 ¹³、田邉 寛 ¹⁴、岩下明徳 ¹⁴、平井郁仁 ¹(福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター¹、福岡大学筑紫病院 消化器内科 ²、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科 ³、慶應義塾大学医学部 消化器内科 ⁴、東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部 ⁵、兵庫医科大学 腸管病態解析学 в。岩手医科大学医学部 内科学講座消化器内科消化管分野 ¯、佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部 в。横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター 10、東京大学大学院医学系研究科 腫瘍外科・血管外科 ¹¹、福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター (外科) ¹²、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野 ¹³、福岡大学筑紫病院 病理部 ¹4)

潰瘍性大腸炎外科手術例の「重症度」(案)の検討

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、楠正人⁵、舟山裕士⁶、畑 啓介⁻、福島浩平ឹ、板橋道 朗ց、池内浩基⅙、小金井一隆⁴¹、篠崎 大 ²²、亀山仁史 ³³、亀岡信悟 ⁴4、佐々木 巌 ¹⁵、中村志郎 ¹⁶、平井郁仁 ¹7(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、三重大学消化管・小児外科学⁵、仙台赤十字病院外科⁶、東京大学大腸肛門外科¬、東北大学分子病態外科®、東京女子医大第 2 外科ց、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座 ¹⁰、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹¹、東大医科学研究所病院腫瘍外科 ²²、新潟大学消化器・一般外科 ¹³、牛久愛和総合病院 ¹⁴、みやぎ健診プラザ ¹⁵、兵庫医科大学内科学下部消化管科 ¹6、福岡大学筑紫病院消化器内科 ¹7)

潰瘍性大腸炎関連腫瘍に関する新規内視鏡所見分類の開発:Navigator Study 2

渡辺憲治 1、樋田信幸 2、江崎幹宏 3、平井郁仁 4、畑 啓介 5、岡 志郎 6、樫田博史 7、斎藤彰一 8、嶋本文雄 9、味岡洋一 10、斎藤 豊 11、川野伶緒 12、池内浩基 13、岩男 泰 14、田中信治 6、松本主之 15、工藤進英 16(兵庫医科大学腸管病態解析学 1、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門 2、佐賀大学光学医療診療部 3、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター 4、東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科 5、広島大学内視鏡診療科 6、近畿大学消化器内科 7、がん研有明病院下部消化器内科 8、広島修道大学健康科学部 9、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子病態病理学 10、国立がん研究センター中央病院内視鏡科 11、広島大学病院総合医療研究推進センター 12、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門 13、慶應義塾大学予防医療センター 14、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野 15、昭和大学横浜市北部病院消化器センター 16)

【誌上】潰瘍性大腸炎(UC)、クローン病(CD)、分類不能の IBD (IBD unclassified, IBDU)、Indeterminate colitis (IC) における診断変遷症例の検討

岡崎和一¹、 福井寿朗¹、深田憲将¹、大宮美香¹、濱田 円²、吉岡和彦³、仲瀬裕志⁴、妹尾 浩⁵、松浦 稔⁵、中村志郎⁶、渡辺憲治⁶、池内浩基¹、金井隆典⅙、緒方晴彦⅙、久松理一ҫ、平井郁仁ថо、鈴木康夫¹¹(関西医科大学内科学第三講座¹、関西医科大学附属病院消化管外科²、関西医科大学総合医療センター消化管外科³、札幌医科大学医学部消化器内科学講座⁴、京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座⁵、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⅙、杏林大学医学部第三内科学ҫ、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センターថ。東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹¹)

【誌上】炎症性陽疾患の疾患活動性指標集の改定プロジェクト - アンケート結果の報告と今後の予定 -

〇岸 昌廣 1 、高田康道 1 、別府剛志 1 、矢野 豊 1 、高津典孝 2 、竹内 健 3 、鈴木康夫 4 、平井郁仁 2 (福岡大学 筑紫病院 消化器内科 1 、福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター 2 、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器 内科 3 、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター 4)

【誌上】Crohn 病に合併した大腸癌の surveillance program 確立の検討 (痔瘻癌を含む)

- 作成 surveillance program の検証 -

杉田 昭 ¹、小金井一隆 ¹、二見喜太郎 ²、舟山裕士 ³、池内浩基 ⁴、根津理一郎 ⁵、板橋道朗 ⁶、水島恒和 ⁻、楠 正人 ˚、畑 啓介 ց、福島浩平 ¹º、小金井一隆 ¹¹、佐々木 巌 ¹²(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科 ¹、福岡大学筑紫病院外科 ²、仙台赤十字病院外科 ³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座 ⁴、西宮市立中央病院外科 ⁵、東京女子医大第 2 外科 ⁶、大阪大学消化器外科 ⁻、三重大学消化管・小児外科学 ³、東京大学大腸肛門外科 g、東北大学分子病態外科 ¹0、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹1、みやぎ健診プラザ ¹²)

【誌上】クローン病に関連する癌サーベイランス法の確立に向けて

- 小腸癌・腸管外悪性疾患のアンケート報告 -

二見 喜太郎¹、東 大二郎¹、平野 由紀子¹杉田 昭²、小金井一隆²、福島浩平³、舟山裕士⁴、池内浩基⁵、藤井久男⁶、板橋道朗⁻、畑 啓介ց、楠 正人ց、荒木俊光ց、根津理一郎¹⁰、高橋賢一¹¹、水島恒和¹²、木村英明³、亀山仁史¹⁴、江崎幹宏¹⁵、平井郁仁¹⁶、渡辺憲治¹⁻、原岡誠二¹²、岩下明德¹²(福岡大学筑紫病院¹、横浜市民病院²、東北大学病院外科学³、仙台赤十字病院⁴、兵庫医大 IBD センター⁵、吉田病院ց、東京女子医大 消化器外科⁻、東京大学腫瘍外科ց、三重大学消化管・小児外科ց、西宮市立中央病院¹⁰、東北労災病院外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²、横浜市立大学市民総合医療センター外科¹³、新潟大学消化器外科¹⁴、九州大学病態機能内科¹⁵、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター¹6、兵庫医科大学腸管病態解析学¹²、福岡大学筑紫病院病理¹³)

【誌上】清瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

-Target vs Random 生検のランダム化比較試験のフォローアップスタディー

畑 啓介 ¹、味岡洋一²、安藤 朗³、池内浩基 ⁴、岡崎和一 ⁵、緒方晴彦 ⁶、金井隆典 ²、猿田雅之 卷、清水俊明 ⁰、杉田 昭 ¹0、仲瀬裕志 ¹¹、中野 雅 ¹²、中村志郎 ¹³、長堀正和 ¹⁴、西脇祐司 ¹⁵、久松理一 ¹6、平井郁仁 ¹²、福島浩平 ¹8、二見喜太郎 ¹9、穂刈量太 ²0、松岡克善 ²¹、松本主之 ²²、日比紀文 ²³、渡辺 守 ²⁴、鈴木康夫 ²5 (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科 ¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野 ²、滋賀医科大学内科学講座消化器内科 ³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座 ⁴、関西医科大学内科学第三講座 (消化器肝臓内科) ⁵、慶應義塾大学医学部内視鏡センター 6、慶應義塾大学医学部消化器内科 ²、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科 卷、順天堂大学医学部小児科学教室 g、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター 10、札幌医科大学医学部消化器内科学講座 11、北里大学北里研究所病院内視鏡センター 12、兵庫医科大学炎症性腸疾患学 講座内科部門 13、東京医科歯科大学医学部 臨床試験管理センター 14、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野 15、杏林大学医学部第三内科学 16、福岡大学筑紫病院消化器内科 17、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野 18、福岡大学筑紫病院外科 19、防衛医科大学校消化器内科 20、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座 21、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野 22、杏林大学第三内科 23、東京医科歯科大学消化器病態学 24、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター 25)

【誌上】腸管ベーチェット病、単純性潰瘍の手術例の検討-特徴と予後-

杉田 昭¹、 小金井一隆¹、内野 基²、二見喜太郎³、根津理一郎⁴、藤井久男⁵、舟山裕士⁶、渡邉聡明⁷、福 島浩平⁸、板橋道朗⁹、篠崎 大¹⁰、池内浩基¹¹、荒木俊光¹²、高橋賢一¹³、水島恒和¹⁴、畑 啓介¹⁵、植田 剛 ¹⁶、亀山仁史¹⁷、久松理一¹⁸(横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座 ²、福岡大学筑紫病院外科³、西宮市立中央病院外科⁴、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁵、仙台赤十字病院外科⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、東北大学分子病態外科⁸、東京女子医大第 2 外科⁹、東大医科学研究所病院腫瘍外科¹⁰、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座¹¹、三重大学消化管、小児外科学¹²、東北労災病院 大 腸肛門病センター¹³、大阪大学消化器外科¹⁴、東京大学大腸肛門外科¹⁵、奈良県立医大消化器・総合外科¹⁶、

【誌上】カプセル内視鏡所見を取り入れたクローン病診断基準の改定について

○江崎幹宏¹、矢野 豊²、髙津典孝³、竹内 健⁵、長沼 誠⁶、大塚和朗⁻、渡辺憲治⅙、松本主之⁶、小金井一隆¹⁰、杉田 昭¹¹、畑 啓介¹²、二見喜太郎¹³、味岡洋一¹⁴、田邉 寛¹⁵、岩下明德¹⁵、平井郁仁³(佐賀大学 医学部附属病院光学医療診療部¹、福岡大学筑紫病院 消化器内科²、福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター³、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科⁵、慶應義塾大学医学部 消化器内科⁶、東京医科歯科大学 医学部附属病院 光学医療診療部 ७、兵庫医科大学 腸管病態解析学⅙、岩手医科大学医学部 内科学講座消化 器内科消化管分野ఄ、横浜市立市民病院 炎症性腸疾患 センター¹¹、東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹²、福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター(外科)¹³、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野¹⁴、福岡大学筑紫病院 病理部¹⁵)

7.新たな IBD 診断の開発 (14:50~15:10) 総括 緒方晴彦 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター (10分)

潰瘍性大腸炎に対する大腸カプセル内視鏡アトラス作成、大腸カプセル内視鏡による炎症判定スコアの作 成

細江直樹¹、緒方晴彦¹、水野慎大²、長沼 誠²、金井隆典²、渡辺 守³、小林 拓⁴、中野 雅⁴、日比紀文⁴、吉田篤史⁵、遠藤 豊⁵、上野文昭⁵、大森鉄平⁶、林田真理⁷、竹内 健⁸、松岡克善⁸、鈴木康夫⁹(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、東京医科歯科大学消化器内科³、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁴、大船中央病院消化器肝臓病センター⁵、東京女子医科大学消化器内科⁶、杏林大学第三内科⁷、東邦大学佐倉病院 消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院 IBD センター⁹)

【誌上】潰瘍性大腸炎の組織学的治癒予測のための内視鏡自動診断システムの開発 (UC-CAD study)の現状報告

木村佳代子¹、緒方晴彦¹、高林 馨¹、細江直樹¹、水野慎大²、長沼 誠²、金井隆典²、渡辺英伸³前田康晴⁴、笹沼靖子⁴、森悠一⁴、三澤将史⁴、小形典之⁴、工藤進英⁴、竹中健人⁵、大塚和朗⁵、渡辺 守⁵、伊東隼人⁶、森健策⁶(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、新潟大学名誉教授³、昭和大学横浜市北部病院⁴、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科⁵、名古屋大学大学院情報学研究科 知能システム学専攻⁶)

【誌上】クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡と MRE の比較試験 Progress Study: 国内多施設共同試験

渡辺憲治 1、竹内 健 2、矢野智則 3、長沼 誠 4、奥田茂男 5、大塚和朗 6、北詰良雄 7、平井郁仁 8、村上義孝 9、屋代香絵 10、別府剛志 8、松井敏幸 8、櫻庭裕丈 11、石黒 陽 12、加藤真吾 13、馬場重樹 14、安藤 朗 14、渡辺知佳子 15、穂苅量太 15、内山和彦 16、髙木智久 16、内藤裕二 16、桑木光太郎 17、光山慶一 17、長坂光夫 18、大宮直木 18、前本篤男 19、吉田篤史 20、遠藤 豊 20、渡部公彦 21、細見周平 21、湯川知洋 21、鎌田紀子 21、山上博一 21、宮嵜孝子 22、樋田信幸 22、中村志郎 22、山本博徳 3、金井隆典 4、上野文昭 20、渡辺 守 6、日比紀文 23、鈴木康夫 24(兵庫医科大学腸管病態解析学 1、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科 2、自治医科大学消化器内科 3、慶應義塾大学医学部消化器内科 4、慶應義塾大学医学部放射線診断科 5、東京医科歯科大学消化器内科 6、東京医科歯科大学放射線科 7、福岡大学筑紫病院消化器内科 8、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 9、大船中央病院放射線科 10、弘前大学医学部消化器血液内科学講座 11、国立病院機構弘前病院臨床研究部 12、埼玉医科大学総合医療センター消化器肝臓内科 13、滋賀医科大学消化器内科 14、防衛医科大学校消化器内科 15、京都府立医科大学消化器内科 16、久留米大学医学部内科学講座消化器内科 11、防衛医科大学校消化器内科 15、京都府立医科大学消化器内科 16、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門炎症性腸疾患センター17、藤田保健衛生大学消化器内科 18、札幌東徳洲会病院 IBD センター19、大船中央病院消化器 IBD センター20、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 21、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門 22、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター23、東邦大学佐倉病院 IBD センター24)

8. IBD **の特殊系 (**15:10~15:50) **総括 清水俊明 順天堂大学医学部小児科学教室 (**10 分) **総括 穂苅量太 防衛医科大学校 消化器内科 (**10 分)

小児期発症炎症性腸疾患患者の理想的なトランジションを目指して

熊谷秀規¹、清水俊明²、内田恵一³、国崎玲子⁴、杉田 昭⁵、大塚宜一²、新井勝大⁶、窪田 満⁷,田尻 仁 ⁸、鈴木康夫⁹(自治医科大学小児科学¹、順天堂大学小児科²、三重大学小児外科³、横浜市立大学市民総合 医療センター炎症性腸疾患センター⁴、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁵、国立成育医療研究センター消化器科⁶、国立成育医療研究センター総合診療部⁷、大阪府立急性期・総合医療センター小児科⁸、東邦大学佐倉病院 IBD センター⁹)

炎症性腸疾患合併妊娠 前向き観察型研究

○渡辺知佳子 ¹、高本俊介 ¹、穂苅量太 ¹、本谷 聡 ²、松本主之 ³、藤井俊光 ⁴、長堀正和 ⁴、渡辺 守 ⁴、長沼誠 ⁵、金井隆典 ⁵、小林 拓 ⁶、日比紀文 ⁶、酒匂美奈子 ⁷、吉村直樹 ⁷、米沢麻利亜 ⁸、横山 薫 ⁹、国崎玲子 ¹⁰、北村和哉 ¹¹、加賀谷尚史 ¹²、山上博一 ¹³、渡辺憲治 ¹⁴、中村志郎 ¹⁴、石原俊治 ¹⁵、江﨑幹宏 ¹⁶、松井敏幸 ¹⁷(順不同)(防衛医科大学校内科 ¹、札幌厚生病院 IBD センター²、岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野 ³、東京医科歯科大学 消化器内科 ⁴、慶應義塾大学医学部 消化器内科 ⁵、北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター⁶、東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター⁷、東京女子医科大学 IBD センター(消化器内科) ⁸、北里大学医学部 消化器内科 ⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター ¹⁰、金沢大学医学部 消化器内科 ¹¹、金沢医療センター 消化器内科 ¹²、大阪市立大学 消化器内科 ¹³、兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科 ¹⁴、島根医科大学 消化器内科 ¹⁵、九州大学病院 病態機能内科 ¹⁶、福岡大学筑紫病院 消化器内科 ¹⁷)

【誌上】本邦における超早期発症型炎症性腸疾患(VEO-IBD)の実態解明と診断基準の作成

〇新井勝大¹、清水俊明²、工藤孝広²、清水泰岳¹、細井賢二²、大塚宜一²、内田恵一³、石毛崇⁴、田尻仁⁵、鈴木康夫⁶(国立成育医療研究センター消化器科¹、順天堂大学小児科²、三重大学大学院消化管・小児外科³、群馬大学小児科⁴、大阪急性期・総合医療センター 臨床研究支援センター⁵、東邦大学医療センター佐 倉病院 IBD センター⁶)

【誌上】高齢者清瘍性大腸炎治療指針の作成

穂苅量太 ¹、東山正明 ¹、中村志郎 ²、横山陽子 ²、渡辺憲治 ²、長堀正和 ³、杉田 昭 ⁴、長沼 誠 ⁵、馬場重樹 ⁶、加藤真吾 ⁷、竹内 健 ⁸、大森鉄平 ⁹、髙木智久 ¹⁰、松本吏弘 ¹¹、長坂光夫 ¹²、小林 拓 ¹³、北村和哉 ¹⁴、桂田武彦 ¹⁵ 、杉本 健 ¹⁶、高津典孝 ¹⁷、猿田雅之 ¹⁸、杉田 昭 ¹⁹、小金井一隆 ¹⁹、渡辺和宏 ²⁰、内野 基 ²¹(防衛医科大学校消化器内科 ¹、兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科 ²、東京医科歯科大学消化器内科 ³、横浜市民病院外科 ⁴、慶應義塾大学消化器内科 ⁵、滋賀医大消化器内科 ⁶、埼玉医大総合医療センター⁷、東邦大学佐倉病院消化器内科 ⁸、東京女子医科大学消化器内科 ⁹、京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科 ¹⁰、さいたま医療センター 消化器内科 ¹¹、藤田保健衛生大学消化管内科 ¹²、北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター ¹³、金沢大学附属病院 消化器内科 ¹⁴、北海道大学 ¹⁵、浜松医科大学第一内科・消化器内科 ¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科 ¹⁷、東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科 ¹⁸、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科 ¹⁹、東北大学消化器外科 ²⁰、兵庫医科大学炎症性腸疾患外科 ²¹)

【誌上】高齢者中等症潰瘍性大腸炎におけるステロイド vs 血球成分除去療法の前向き観察型比較試験

穂苅量太 ¹、 高本俊介 ¹、東山正明 ¹、渡辺知佳子 ¹、三浦総一郎 ¹、本谷 聡 ²、加藤真吾 ³、横山 薫 ⁴、中村志郎 ⁵、飯塚正弘 ⁶(防衛医科大学校 消化器内科 ¹、札幌厚生病院 IBD センター²、埼玉医科大学総合医療センター 消化器内科 ³、北里大学東病院 消化器内科 ⁴、兵庫医科大学 内科学下部消化管科 ⁵、秋田赤十字病院 消化器内科 ⁶)

9. 希少疾患プロジェクト (15:50~16:40) 総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野 (10分)

非特異性多発性小腸潰瘍症の臨床徴候について

梅野淳嗣¹、冬野雄太¹、松野雄一¹、江﨑幹宏²、梁井俊一³、大宮直木⁴、久松理一⁵、渡辺憲治 ⁶、細江直樹¹、緒方晴彦¹、平井郁仁 в、松井敏幸 в、八尾恒良 в to、松本主之³、CEAS study group (九州大学大学院病態機能内科学¹、佐賀大学光学医療診療部²、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野³、藤田保健衛生大学消化管内科学⁴、杏林大学医学部第三内科学 f、兵庫医科大学腸管病態解析学 f、慶應義塾大学内視鏡センターf、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センターg、福岡大学筑紫病院消化器内科 g、佐田厚生会佐田病院 fo)

家族性地中海熱遺伝子関連腸炎の診断法の確立並びに病態解明

仲瀬裕志¹、飯田智也¹、平山大輔¹、三橋 慧¹、櫻井晃弘²、久松理一³、松本主之⁴、江崎幹宏⁵、国崎 玲子⁶、松浦 稔¹、大宮美香ঙ、荒木寛司ց、渡辺憲治¹0、田中浩紀¹¹、小林 拓¹²、日比紀文¹²、竹内 健³³、鈴木康夫¹⁴ (札幌医科大学 消化器内科学講座¹、札幌医 科大学 遺伝医学²、杏林大学第3内科³、岩手 医科大学消化器内科消化管分野⁴、九州大学大学院 病態機能内科学 第二内科⁵、横浜市立大学附属 市民 総合医療センター 炎症性腸疾患センター⁶、京都大学医学部附属病院 内視鏡部7、関西医科大学内科学第3 講座 в、岐阜大学医学部 光学医療診療部 与、兵庫医科大学腸管病態解析学¹0、札幌厚生病院 IBD センター¹1、北里大学大学院医療系研究科炎症性腸疾患先進治療センター¹2、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器 内科学 13、東邦大学佐倉病院 IBD センター¹4)

腸管型ベーチェット診療ガイドライン作成プロジェクト(鈴木班・水木班合同プロジェクト)

〇久松理一¹,井上 詠²,渡辺憲治³,谷田諭史⁴,国崎玲子⁵,小林清典⁶,長堀正和⁷,新井勝大⁸,内野 基⁹,小金井一隆¹⁰,小林 拓¹¹,岳野光洋¹²,上野文昭¹³,松本主之¹⁴,鈴木康夫¹⁵(杏林大学医学部第三内科学¹、慶應義塾大学医学部予防医療センター²、兵庫医科大学腸管病態解析学³、名古屋市立大学医学部消化器内科⁴、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBD センター⁵、北里大学医学部新世紀医療開発センター⁶、東京医科歯科大学医学部消化器内科⁷、国立成育医療センター 器官病態系内科部消化器科⁸、兵庫医科大学病院炎症性腸疾患外科⁹、横浜市民病院 炎症性腸疾患科¹⁰、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹¹、日本医科大学リウマチ膠原病科¹²、大船中央病院¹³、岩手医科大学消化管内科学¹⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁵)

クロンカイト・カナダ症候群アトラスの作成

渡辺知佳子1、 穂苅量太1(防衛医科大学校消化器内科1)

【誌上】chronic enteropathy associated with SLCO2A1 gene (CEAS)の胃粘膜病変の内視鏡像と病理学的な特徴の解明

細江直樹¹、緒方晴彦¹、長沼 誠²、金井隆典²、久松理一³、大宮直木⁴、安川重義⁵、平井郁仁⁶、田邉 寛⁷、岩下明徳⁷、平野敦士⁸、梅野淳嗣⁸、江崎幹宏⁹、松本主之¹⁰(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、應義塾大学医学部消化器内科²、杏林大学医学部第三内科学³、藤田保健衛生大学消化管内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター⁶、福岡大学筑紫病院病理部⁷、九州大学病態機能内科学⁸、佐賀大学医学部付属病院光学医療診療部⁹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野¹⁰)

【誌上】特殊型炎症性腸疾患におけるアダリムマブとステロイドの前向き無作為化比較試験 Cast le Study: 国内多施設共同試験

渡辺憲冶 ¹、松本主之 ²、仲瀬裕志 ³、久松理一 ⁴、平井郁仁 ⁵、小林清典 ⁶、国崎玲子 ⁷、長堀正和 ⁸、竹内健 ⁹、大藤さとこ ¹⁰、福島若葉 ¹⁰、梁井俊一 ²、稲場勇平 ¹¹、藤谷幹浩 ¹¹、櫻庭裕丈 ¹²、角田洋一 ¹³、勝野達郎 ¹⁴、大森鉄平 ¹⁵、小林 拓 ¹⁶、秋山純一 ¹⁷、本田 穣 ¹⁸、佐藤 公 ¹⁹、佐々木誠人 ²⁰、谷田諭史 ²¹、加賀谷尚史 ²²、馬場重樹 ²³、安藤 朗 ²³、深田憲将 ²⁴、岡崎和一 ²⁴、細見周平 ²⁵、湯川知洋 ²⁵、鎌田紀子 ²⁵、山上博一 ²⁵、宮嵜孝子 ²⁶、樋田信幸 ²⁶、中村志郎 ²⁶、松浦 稔 ²⁷、平田 敬 ²⁸、石田哲也 ²⁹、松本吏弘 ³⁰、金城福則 ³¹、金城 徹

32、上野義隆33、田中信治33、渡辺知佳子34、穂苅量太34、高橋索真35、進士明宏36、北村和哉37、辻川知之 38、山下真幸 39、長沼 誠 40、猿田雅之 41、本谷 聡 42、邊見 慎一郎、宮川一平 44、田中良哉 44、水木信久 45、鈴木康夫 46、上野文昭 47、日比紀文 16、渡辺 守 8(兵庫医科大学腸管病態解析学 1、岩手医科大学内科学 講座消化器内科消化管分野²、札幌医科大学消化器内科³、杏林大学医学部第三内科学⁴、福岡大学筑紫病院 消化器内科 5、北里大学新世紀医療開発センター6、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患セ ンター⁷、東京医科歯科大学消化器病態学⁸、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁹、大阪市立大学大 学院医学研究科公衆衛生学 10、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野 11、弘前大学大学院 医学研究科消化器血液内科学講座 12、東北大学消化器内科 13、千葉大学消化器内科 14、東京女子医科大学消 化器病センター15、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター16、国立国際医療研究センター消 化器内科 17、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野 18、山梨大学医学部第 1 内科 19、愛知医科 大学消化器内科 ²⁰、名古屋市立大学消化器内科 ²¹、国立病院機構金沢医療センター消化器科 ²²、滋賀医科大学消化器内科 ²³、関西医科大学消化器肝臓内科 ²⁴、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 ²⁵、兵庫医 科大学炎症性腸疾患学講座内科部門 26 京都大学消化器内科 27、松山赤十字病院胃腸センター28、石田消化器 IBD クリニック²⁹、自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科³⁰、浦添総合病院消化器内科³¹、琉球大 学光学医療診療部 ³²、広島大学内視鏡診療科 ³³、防衛医科大学消化器内科 ³⁴、香川県立中央病院消化器内科 35、諏訪赤十字病院腫瘍内科 36、金沢大学消化器内科炎症性腸疾患センター37、国立病院機構東近江総合医療 センター消化器内科 38、聖マリアンナ医科大学消化器内科 39、慶應義塾大学医学部消化器内科 40、東京慈恵 医科大学消化器・肝臓内科 41、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター42、大阪赤十字病院消化器内科 43、 産業医科大学医学部第 1 内科学講座 44、横浜市立大学大学院医学研究科眼科学講座 45、東邦大学佐倉病院 IBD センター⁴⁶、大船中央病院消化器 IBD センター⁴⁷)

10. IBD の遺伝子解析プロジェクト (16:40~17:00) 総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野 (10分)

チオプリン不耐症を判別する NUDT15 遺伝子検査の開発を軸とした炎症性腸疾患治療薬に関係する遺伝子マーカーの探察と臨床応用研究 (MENDEL Study)

角田洋一¹、木内喜孝²、中村志郎³、高川哲也³、花井洋行⁴、池谷賢太郎⁴,櫻庭裕丈⁵、西田淳史⁶、佐々 木誠人7、岡庭紀子7、久松理一8、小林 拓9、小野寺 馨10、石黒 陽11、篠崎 大12、長沼 誠13、平岡佐規子 14、荒木寛司 15、佐々木 悠 16、志賀永嗣 17、本谷 聡 18、小野寺基之 19、松岡克善 20 、藤谷幹浩 21、佐藤雄一 郎 22、桂田武彦 23、梁井俊一 24、穂苅量太 25、石原俊治 26、新井勝大 27、野口光徳 28、中川倫夫 29、加藤 順 30、杉田 昭31、松浦 稔32、遠藤克哉33、内藤健夫1、諸井林太郎1、黒羽正剛1、木村智哉1、金澤 義丈1、 安藤 朗 6、鈴木康夫 34、下瀬川 徹 1(東北大学病院 消化器内科 1、東北大学高度教養教育・学生支援機構 臨 床医学開発室²、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座 内科部門³、浜松南病院 IBD センター⁴、弘前大学大学 院医学研究科・消化器血液内科学講座⁵、滋賀医科大学 消化器内科⁶、愛知医科大学消化器内科⁷、杏林大 学医学部第三内科学®、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター®、札幌医科大学医学部 消 化器内科学講座 ¹⁰、国立病院機構弘前病院 消化器・血液内科 ¹¹、東京大学医科学研究所附属病院外科 ¹²、 慶應義塾大学 消化器内科 13、岡山大学病院 消化器内科 14、岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部 15、 山形大学医学部内科学第二講座 16、秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科学・神経内科学講座 17、札幌 厚生病院 IBD センター¹⁸、岩手県立胆沢病院 消化器内科 ¹⁹、東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座 20 、旭川医科大学消化器血液腫瘍制御内科 21、大崎市民病院消化器内科 22、北海道大学大学院医学研究科内 科学講座消化器内科学分野 23、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野 24、防衛医科大学校消化器内 科 25、島根大学医学部内科学講座第二 26、国立成育医療研究センター消化器科 27、野口胃腸内科医院 28、千 葉大学医学部付属病院消化器内科 29、和歌山県立医科大学第二内科 30、横浜市立市民病院 31、京都大学大学 院医学研究科 消化器内科学 32、東北医科薬科大学医学部内科学第二 33、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター34)

【誌上】腸管ベーチェット病および単純性潰瘍における Genome Wide Association Study (GWAS)

冬野雄太¹、平野敦士¹、梅野淳嗣¹、江﨑幹宏²、角田洋一³、仲瀬裕志⁴、久松理一⁵、松本主之⁶(九州大学大学院 病態機能内科学¹、佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部²、東北大学 消化器内科³、札幌医科大学 消化器内科学講座⁴、杏林大学医学部 第三内科学⁵、岩手医科大学 内科学講座消化器内科消化管分野⁶)

----- 17:00 **終了予定** ------

事務局連絡

懇親会(17:10~)

平成30年7月27日(金)

.研究報告(続)

11. 腸内細菌プロジェクト (10:00~10:20) 総括 安藤 朗 滋賀医科大学 消化器内科 (10分)

日本人 IBD における腸内真菌叢の変化

安藤 朗 1 、井上 亮 2 、高橋憲一郎 1 、西田淳史 1 、馬場重樹 1 、内藤裕二 3 (滋賀医科大学消化器内科 1 、京都府立大学大学院生命環境科学研究科 2 、京都府立医科大学消化器内科 3)

【誌上】潰瘍性大腸炎に対する抗菌剤併用便移植療法

石川 大 1 、長田太郎 2 、岡原昂輝 1 、伊藤翔子 1 、澁谷智義 1 、永原章仁 1 (順天堂大学消化器内科 1 、順天堂浦安病院消化器内科 2)

【誌上】クローン病に対する糞便パンクを用いた糞便移植の有効性に関する多施設無作為割付対照比較試験

大宮直木¹、尾﨑隼人¹、長坂光夫¹、安藤 朗²、馬場重樹²、金子周一³、北村和哉³、中村志郎⁴、渡辺憲治⁴、春日井邦夫⁵、佐々木誠人⁵、山本博徳⁶、矢野智則⁶(藤田保健衛生大学消化管内科¹、滋賀医科大学消化器内科²、金沢大学消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患内科⁴、愛知医科大学消化管内科⁵、自治医科大学消化器内科学部門⁶)

12. **バイオマーカーと創薬に関するプロジェクト (**10:20~11:20) 総括 金井隆典 慶應義塾大学医学部 消化器内科 (10分)

清瘍性大腸炎患者に対する青黛治療の有害事象実態調査

杉本真也¹、金井隆典¹、長沼 誠¹、鈴木康夫²、日比紀文³、中村志郎⁴、飯島英樹⁵(慶應義塾大学病院 消化器内科¹、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²、北里大学炎症性腸疾患先進治療センター³、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁴、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学⁵)

青黛に合併する肺高血圧症の病態探索研究

片岡雅晴¹、金井隆典²(慶應義塾大学医学部循環器内科¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²)

培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する粘膜再生治療の開発

岡本隆一^{1,3}、鈴木康平^{2,3}、清水寛路³、高橋純一³、平栗優衣³、川井麻央³、永田紗矢香³、竹岡さや香³、村野竜朗³、水谷知裕³、油井史郎^{1,3}、土屋輝一郎³、中村哲也³、渡辺 守³(東京医科歯科大学再生医療研究センター¹、東京医科歯科大学光学医療診療部²、東京医科歯科大学消化器病態学³)

アドレノメデュリン (AM) の炎症性腸疾患治療薬としての研究開発

北村和雄¹、 芦塚伸也^{1,2}、 稲津東彦²、 北俊弘¹ (宮崎大学 医学部内科学講座循環体液制御学分野¹・ 附

属病院消化器内科2)

乳酸菌由来分子を用いた新規炎症性腸疾患治療薬の開発

藤谷幹浩¹、上野伸展¹、嘉島 伸¹、田中一之¹、坂谷 慧¹、垂石正樹²、奥村利勝¹(旭川医科大学内科学 講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野¹、市立旭川病院消化器病センター²)

------ 11:20 終了予定 ------

閉会挨拶・事務局連絡